


News Letter

vol.182

2021年4月号



ICYE JAPAN
International Cultural Youth Exchange



目次

事務局長よりご挨拶	・・・ 2
事務局だより	・・・ 3-10
・ I See Your Engagement	・・・ 3-6
・ 来日生キャンプ	・・・ 7.8
・ ICYE Journey	・・・ 9.10
派遣生の声	・・・ 19
インターン' s Voice	・・・ 15
編集後記	・・・ 15



事務局長よりご挨拶

春がやってきましたねー❀

ICYE では7月が年度末なので、例年であれば、世間の年度末喧騒を横目で見ながら、3月の来日生の受け入れオリエンテーションキャンプを終えて、夏の短期派遣の募集に向けて、大学への広報に向けて、ゆるりと準備をしているところですが、なんだか今年は忙しい！！

昨年からのコロナの影響が続き、国際ボランティア生の派遣・受け入れはなかった分、国内ボランティア・コーワーカー・理事とともに色々なことに挑戦した結果、忙しいというのは、コロナ禍をきっちり生き抜いている証拠だと実感しています。

海外に行きたい！その気持ちをICYE 国内ボランティアで表現し、活躍していただいているコーワーカーのみんなには感謝の気持ちでいっぱいです。思考錯誤の毎日ですが、たくさんの人たちでICYE は形作られているんだなーと。人の繋がりパワーを毎日感じております。

その繋がりの中で、今年ICYE ジャパンは新しい形の国際ボランティア事業に挑戦します。まだ全容が整っていないので、次回のニュースレターでお伝えすることができればと思いますが、新たな挑戦を見守って、そして共に活動を通して応援していただけると嬉しいです。

国内ボランティアの募集に関して

海外にはまだ行けないけれど、国内・オンラインでボランティアに関わりたい皆様、ぜひICYE ジャパン事務局長又吉までお声掛けください！)

ICYE に関わり続けたかったけど、機会がなかった。タイミングがなくて、関わり続けるのが難しいこともあったかと思います。この機会にふとICYE のことを思い出してもらえたら、ぜひ一緒に活動しませんか？

ご興味のある方はぜひ、下記のline よりご連絡下さい！具体的なプロジェクトや関わり方や、時間などお話ししましょう。



ICYE ジャパン事務局長 又吉莉奈

事務局だより

I See Your Engagement Vol.3

—I See Your Engagement とは？—

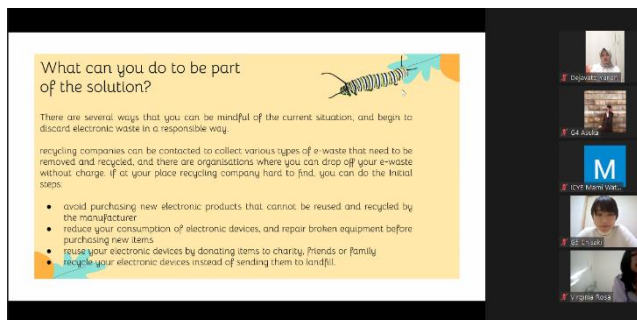
他国の事務局と協力して行ったI See Your Engagement、8月にベトナムと共同で開催し、新しくフィリピンが加わった第二弾が好評につき開催されました。

そして今回行われたI See Your Engagement 3は、**インドネシアとの共同開催**！近年、環境問題や人種問題などに関する社会運動に、積極的に参加する若者・ユースが多く見られます。SNSを通じて世界中の情報を得ることが容易となり、地球規模で起こっている問題が「自分事」であるという理解が深まっています。

「若者が行動し、世界を動かす」「自分達の未来づくりに責任を持って参加する」

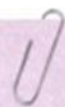
そんな流れをアジアでも更に広げていきたいという考えの下、インドネシアの事務局と共同して開催したI see your Engagement vol.3。5日間の中で、様々なディスカッションやグループワークが行われ、最終日には全チームが社会課題の解決に関するプレゼンテーションを作成しました。生まれや育ち、経験などが全く異なる2つの国の学生が積極的に議論をする姿に刺激を受けました。

特に印象に残ったのは、人数の比率が少なくなってしまったにも関わらず、積極的に参加をする日本人参加者の姿でした。中には、まだ大学生になったばかりの参加者も。そんな日本人参加者の皆さんが、インドネシアの学生に負けにくいぐらいのパッションを持って参加をする様子に胸をうたれました。



右の写真は、最終日に行われたプレゼンテーションの一場面です。時間・場所・言葉の壁を乗り越えて、充分なりサーチをした上で、クオリティーの高いプレゼンテーションを見せてくれました。

I See Your Engagement Vol.3 各日の感想



I See Your Engagement は5日間のプログラムです。プログラムは、社会課題について話し合う→文化交流をする→社会課題の解決策に関するプレゼンテーションをする、という順序で行われています。五日間と聞くと、「少し長い」「忙しくなってしまうそう」と思う方もいらっしゃると思います。そこで、I See Your Engagement では2日間の作業日を設定しました。学業が忙しい方であっても参加のしやすい内容となっています。

そんなI See Your Engagement Vol.3、各日の感想をお届け！

— 1日目 —

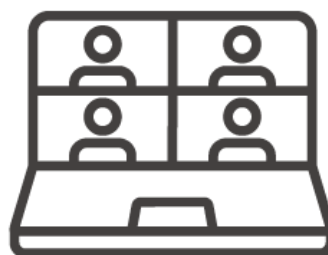
3回目のI see your engagementがついに始まりました。私はISYE1に参加させていただきましたが、今回は新しくインドネシアとのコラボということで、運営側としてもとてもワクワクした心持ちで参加しました。1日目は、イベント概要、アイスブレイク、グループに分かれたディスカッションという流れでしたが、どの参加者も積極的に参加しており、全体的に盛り上がっていました。



特に、アイスブレイクは、画像の一部から全体の画像を予測し、チャット欄で回答するゲームを行いました。想像から全くかけ離れた解答が多く、皆さん楽しんでいる様子でした。今回、日本側の参加者が当初予定していた9人から減ってしまい、日本側とインドネシア側の参加者の割合が大きくなってしまいましたが、**母国語に頼らず英語のみでやり取りができる絶好の機会**として、参加者の方にはぜひ英語でたくさんコミュニケーションを取って頂けたらと思います。

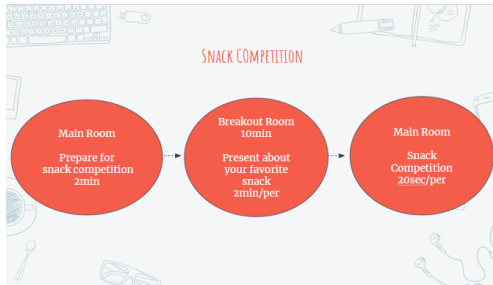


インターン ともな



—3日目—

1日目と2日目を終えて、参加者の皆さんの表情もかなり明るくなってきました。グループ同士のメンバーの距離も近くなり、リアクションも沢山してくれる参加者の方々が増えていきました。



3日目は文化交流の日！楽しみながら日本とインドネシアの文化について学ぶことのできるコンテンツを用意しました。特に盛り上がったのはスナックコンペティションというコンテンツでした。

スナックコンペティションでは、参加者全員が自分の好きなお菓子についてプレゼンテーションを行いました。お菓子には様々な文化が反映されています。お饅頭やおかきなど、日本ならではの菓子にインドネシアの参加者の皆さんは興味津々でした！

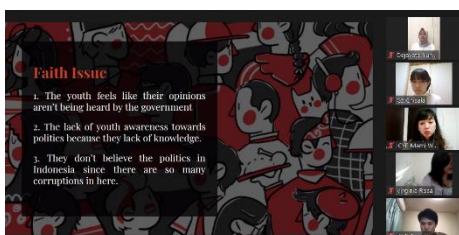
右の写真はキットカットに関する話題で盛り上がる参加者の姿。



文化交流を通して、文化の違いや共通点を見つけることが異なる国に住む相手を理解することに繋がると改めて実感することができました。最終プレゼンテーションで、さらにチームワークに磨きがかかった参加者の姿を見るのが楽しみです！

—5日目—

ついに、最終プレゼンテーションの日となりました。今までに比べ、参加者もかなり緊張している様子。しかし、そんな緊張を感じさせないプレゼンテーションを用意してくれました。



どのグループも、テーマとした社会問題はバラバラでした。しかし、共通して必要だと訴えていたことに「若者がもっと社会課題の解決に声をあげること」がありました。インドネシアの政治では、様々な不正や制度の崩壊が露わになっているため、特に将来の政治を担う若者の声が重要であるとされています。日本でも若者の政治への参加が芳しくないことが、投票率の低さから見て取れるため、「若者がもっと声をあげること」は不可欠であると考えます。

5日間を通して、ぐんと距離が近づいた参加者同士の姿に感動しました。いつか、直接会えることを願って、これからも友達として沢山の交流をしてもらえたら嬉しいです。

I See Your Engagement Vol.3 参加者の声

この度のI See Your Engagement Vol.3 の参加者から寄せられた感想を共有致します！

・社会の中で若者が出来ることや、すべき行動を学び、他国のチームメイトから沢山のことを学びました！

・相手を傷付けないように自分の意見を述べることを注意しました。

・流暢な英語ではないけれど、意見を上手に伝える工夫をされている人が多くて凄いなと思いました

・参加してとても自信ができました！また、若者として、この社会をより良くする為の知識もつけることが出来ました！

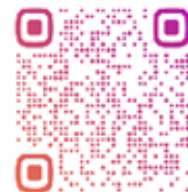
・若者は、私たちの年齢、場所、そして国籍に関係なく、協力し、働くことが出来るのだと学びました！

・イベントに参加してリーダーシップ、話す力、他国の人々とのコミュニケーション能力が向上しました。

・私は、若者のパッションを示す為に、活発に参加しました！私は若者が声をあげることが社会にとって重要なものだと知っています。このイベントを通して、さらに社会参画に積極的になりたいと思うことができました。



5日間に渡ったI See Your Engagement 3は大成功を収めました。今後、さらにパワーアップをしたI See Your Engagement 4を開催する予定です。英語を使用する機会が欲しい方、海外に住む友だちを作りたい方、社会課題の解決に貢献したいという気持ちのある方、ぜひご参加ください！皆さんの挑戦を支えられることを楽しみにしています！I See Your Engagement 4に関する詳細は、順次公表致します。ぜひ、下記のSNS等をフォローしてお待ちください。



ICYEJAPAN

来日生キャンプ

初めてのオンライン形式のオリエンテーション！



こんにちは、ガーです。ICYE Japan に入ってから、今回も含めて3回到着オリエンテーションに参加しました。1回目と2回目は、実際に滋賀県にあるNPO法人幼稚園の天気村さんと御殿場市にある青年交流ハウスに赴いて、来日生とスタッフを含めたみんなで10日間の合宿を行いました。自国の文化を交流しながら、だんだんと仲良しになっていきました。小学生の頃のexcursionまるで似ているような感じ。

コロナの影響により、昨年度は来日生の受け入れができず、日本に来ることを諦めてしまった方もいれば、いつか日本に到着できるか全くわからないままで1年半以上も待たれた方もいます。今回の到着オリエンテーションも試行錯誤の上、何度も予定を変更して、完全オンラインで行うという決断に至りました。そもそもオフラインとオンラインが半々の形式で、来日生が日本に入った後の自粛期間の2週間を合わせて行うということも企画しましたが、コロナ第2波で、結局国境が塞がり、オンラインで行うこととなりました。

来日生キャンプの担当であった、ともなさん・はるとさん・かのさんと共に、来日生に向けたワークショップを用意しました。日本語の勉強だけでなく、マナーや文化についても勉強してもらえたのではないかと考えています。

インターン ガー

オンラインでの来日生イベントでは、約1カ月間来日生に対して日本語のレッスン、日本での生活に関するディスカッションなどを行いました。私は、初めて日本語を教えるという経験をさせてもらったのですが、日本人が日頃当たり前のように使っている日本語文法や単語について来日生に対して分かりやすく説明をするということは想像以上に難しかったです。

しかし、コワーカーや橋本先生の助けもあり無事日本語レッスンをすることができました。来日生が楽しんで日本語を学んでいる姿や彼らの日本語の向上を見て感じることができ、本当に嬉しかったと同時に自分も来日生の方と日本語を使って話すことは楽しかったです。とてもやり甲斐を感じた1カ月の来日生イベントでした。今後も来日生に対して、日本語に関するサポートをしていきたいです！

インターン はると

この度の来日生キャンプには、日本語の先生として、橋本先生にご参加いただきました。
以下は、橋本先生より頂いたコメントとなります。

初めて IGYE の来日生のためのオリエンテーションキャンプに参加した橋本です。今回、新型コロナウイルスのために、オンライン(Zoom)で主に日本での生活に必要な日本語を coworker のみなさんと教えました。本当に貴重な経験でした。

今回はどうすればオンラインで楽しく効果的に教えられるか、これを考えることはなかなか大変でした。ただ、来日生のみなさんが言葉や文法を少しずつ覚えようと取り組む様子や、最後には来日生それぞれがしっかりスピーチの文章を作り、発表するなどはっきりした上達が見られたので、頑張って教えてよかったです♪



また、この日本語レッスンでは学んだ日本語を使いながら、いろいろなテーマで楽しくわいわいとおしゃべりしました。会話の中でそれぞれが好きなもの・関心があるものや、デンマーク、フィンランド、スイスなどの文化も知ることができました。このような交流を通して、人と人との強いつながりが生まれたのもよかったです♪

まだ来日生のみなさんに日本で会うことはできませんが、もし今後会えたら、また楽しくおしゃべりしたいと思います。そして、今後も日本語を教えていきたいと思っています。

橋本

2020年のうちに来日生の皆さんに直接会うことは残念ながらできませんでした。しかし、オンラインツールを最大限に活用して、来日生の皆さんとさらに関係性を築いていけたらいいなと思っています！



ICYE Journey Vol.1

2021年4月3日に、新イベント【ICYE Journey】が開催されました！

「普通」の留学ではなく「海外ボランティア留学」を選び、ICYEを通じて世界に飛び出した派遣生や、リターニー（元派遣生）の生の声を聞くことができるイベントです。

テーマは

ー私がボランティア留学を選んだ理由ー

新型コロナウイルスの影響で、ICYEの派遣プログラムもストップせざるを得ない状況が続いています。しかし、いつか安心して海外へ行けるようになった時、より多くの方に「ボランティア留学」の魅力が伝わっていればいいなという思いから生まれたイベントです。



第1回では、ゲストスピーカーとして2020年2月にウガンダへボランティア留学をした2人のリターニー、ののこさんとちありさん、また2人の聞き手となるモデレーターとして(株)LX DESIGN 代表取締役社長の金谷智(かなたに さとし)さんをお招きしました！

▶LX DESIGN についてはこちら: <https://www.lxdesign.me/>

当日は、ののこさんとちありさんがウガンダへボランティア留学をしよう！と思ったきっかけに始まり、行く前と行った後のアフリカに対するイメージの違い、コロナ禍のウガンダでの生活体験談、ウガンダが持つ社会課題（HIV 感染、貧困）の現状や目の当たりにして感じたこと、帰国後にクラウドファンディングを立ち上げたこと、などなどたくさんのお話を聞くことができました！参加者の方からも多くの質問やリアクションをいただき、非常に濃い時間になりました。

以下、イベント終了後のみなさんの声です！

【金谷智さん：モデレーター】

この度は貴重な機会をありがとうございます。

これまでアフリカで活動経験のある“複業先生”たちに話をしてもらったことがありましたが、改めて、アフリカのことを知らないことに気付きました。

みんなと理解を合わせながら、アクションを考えることができ、自分自身が一番学ばせてもらいました。引き続き、ご一緒できたら嬉しいです。



【ののこさん：ゲストスピーカー】

ウガンダに渡航したのは約1年前になりますが、当時の思いや経験を今一度見つめ直すきっかけになりました。また、金谷さんとお話の中で新たな気付きや学びがあり、ボランティア留学の経験をこれからもっと深めていきたいと強く感じました。

このような貴重な機会を下さったこと、そして参加して下さった皆さんに感謝します！！

【ちありさん：ゲストスピーカー】

経験をきちんとお話しする機会は今まであまりなかったので、これを機にもう一度振り返りで良かったです。「大学生のうちになんかアフリカ行ってみたい」というぼんやりした気持ちで行きましたが、行って見ても解消しきれない気持ちや行ったからこそわかる事があったなと再認識できました。もし迷っている方がいたら、落ち着いたらぜひ行ってみたい！と思いました。

【みーやんさん：イベント発起人・インターン生】

語学留学、現地大学留学、ワーキングホリデー…海外へ行く手段として『留学』と言ってもいろいろなものがあります。その中でも『ボランティア留学』が、いつか進路やキャリアの中で当たり前の選択肢になってほしい、そんな想いがあります。

経験した（している）人だからこそ語れる、その人の物語を知る・みんなでシェアするきっかけになればと、このイベントを立ち上げました。ICYE Journeyはまだ始まったばかりです！人の旅路に触れる機会に、ぜひ皆さんもご参加ください♪

～Vol.2の開催決定！～




5月1日に、第2回の開催が決定しています！
次回は…デンマーク編！

今現在もボランティア留学中の、しょうこさんとゆいさんに、デンマークからお話して頂く予定です。次回はこちらのレポートもできればいいなと思っております。是非チェックしてください！

海外へ足を運びにくい今だからこそ、現地からのレポートや、生の声を聞くことができる機会は非常に貴重であるし、その価値もとても高まっているように感じます。リターニーの方にとっても、自身の経験を語ることで振り返り、今できることを考えてみる良い機会になるようです。今後もこのイベントから目が離せません！

インターン はやし



派遣生の声

ーデンマーク・しょうこさんー



デンマークに来てから6ヶ月が経ちました。現地でのボランティア活動も折り返し地点となりました。寒い夜はマイナス16℃になるデンマークにも少しずつ春の気配が近づいています。振り積もった雪の下からは春先の黄色い花が顔を覗かせ、天気の良い晴れた朝には小鳥も気持ち良さそうに鳴いています。

コロナの影響を受けつつも、有難い事に現在も幼稚園のボランティアを続ける事が出来ています。2月11日には「ファステラウン」と呼ばれるデンマークの伝統行事が行われました。コロナの渦中にある事で、全てが例年通りとはいきませんでした。行事を迎えるまでのワクワク感を味わえたり、当日、子ども達と特別な1日を過ごせた喜びは格別でした。

「ファステラウン(Fastelavn)」はデンマーク版のハロウィンとも言える伝統行事です。このお祭りは、キリストの復活を祝う復活祭・イースターの日曜日から逆算して49日目の日曜日に行われます。今年は2月14日がそれにあたるのですが、園ではその週の平日に行事を楽しみました。子ども達は思い思いの仮装をし、登園して来ました。キッチンにはファステラウンボーラー(fastelavn boller)と呼ばれるカスタードクリームのパンが並び、別の部屋の中央には樽に入れられた猫が描かれた箱が吊り下げられていました。箱の中には子ども達へのお菓子が詰まっています。



行事について周囲に尋ねてみると、大昔は邪悪だと言われていた黒猫を樽の中に入れ、外から棒で叩いていたそうです。樽を叩き割り、黒猫を追い出す事で邪気払いをしていたそうで、黒猫を飼っている私にとっては鳥肌もの話でした。

現在では、その形も大きく変わり子ども達はお菓子の詰められた箱を順番に叩き、一番最初に箱を割り落とした子どもを「猫の王様/女王様」とし、冠をプレゼントしています。



その後は皆で箱に入っていたお菓子を食べました。お菓子ももちろん子ども達の楽しみですが、忘れてはいけないのがファステラウンボーラーです。♪Fastelavn er mit navn(ファステラウンは私の名前)と子ども達の歌に合わせて、先生がパンを運んで来ました。園ではカスタードクリームของボーラーでしたが、他に生クリームをシュー生地挟んだものもあります。この時期はパン屋さんにも多くのボーラーが並ぶそうです。私はどちらも食べてみた上で、生クリームのボーラーがお勧めです!

6ヶ月という活動の節目を迎え、これまでの活動を振り返るとともに、これから先の6ヶ月も1日いちにちを大切に過ごして行きたいと改めて思っています。

未来の派遣生の皆さん、私はコロナ禍の派遣でありながらも周りの方々のサポートをいただきながら現地にて大切な気付きや経験を得る事が出来ています。コロナが落ち着けば間違いなくそれ以上でしょう。「コロナ禍でも派遣から学ぶ日本人」としてこれからの皆さんの1歩を応援しています。

しょうこ

—デンマーク・ゆいさん—

Hej, 日本の皆さん! デンマークのゆいです☺

今回はデンマークでのコロナ下の生活と、その間に実感したことについてお話しします。

「時間」の大切さを実感したロックダウン

デンマークでは12月にコロナの新規感染者数が急増して以降、スーパー等の最低限必要な施設を除いた大部分を閉鎖する、ロックダウン措置がとられていました。私がボランティアをしている寮制の学校「エフタスコーレ」も授業は全てオンライン、科目も必須科目に絞られるなど、運営規模を縮小した期間が約3か月続いておりました。



150人の生徒との共同生活から、空っぽの学校での孤独生活に一気に変わり、暗くて寒い時期が続いていたせいか、時間が過ぎるのが遅いなど感じることも。学校生活のほとんどを一緒に過ごしていた他国からのICYEボランティア生も帰国してしまい、5人以上の集会も禁止になる等、友達と過ごす時間も激減してしまいました。

当初は変化に戸惑いを感じていましたが、徐々に一人で料理作りや楽器演奏等、新しい趣味をトライする時間が出来、「自由な時間」が Quality of Life には欠かせないなと実感することが出来ました。

肥えてゆく身体とビューティースタANDARD

ロックダウン中は外出する機会がほとんどない中、好きなものをたくさん作って好きなだけ食べる日々が続き、太るには絶好の機会でした。学校のジムを使ってなんとか引き締めようとトライはしてみるものの、そもそものインプット量が多いので減るわけもなく、むしろ脂肪と筋肉がダブルで倍増している気がします。



ズボンの履きにくさを実感し、着実に肥えていっているのは間違いないのですが、不思議と精神的な「焦り」のようなものを感じていない自分がいることに気付きました。もともと背も低くぽっちゃり体質なので、日本では常にデブだ痩せなきゃ、と内的規範を意識せざるを得なかったのですが、異国に来てどうやらその規範が薄れたようです。



様々な国の方々とビューティースタANDARDについて語り、好みは本当に国・文化・人それぞれなのだな、と実感することが出来たからかかもしれません。体型に限らず、態度や話し方、仕草など、本当に人それぞれ好みに差異があり、日本で一般的にいう「かわいい女子♡」のイメージはとても限定されたものなのだと改めて感じました。とはいえ不健康な太り方はよろしくないなので、運動と野菜の摂取にはもう少しコンシャスになろうと思います(笑)。

春になれば少しは生活の幅も拡大し、異文化体験がさらに出来ると期待しつつ、今出来ることを満喫して残り時間を過ごしてまいります～

皆さんお元気で、Vi ses !

ゆい



お知らせ

現在、ICYE ジャパンでは、ウガンダを訪れた派遣生を発起人として、ウガンダへのクラウドファンディングを行っています。そんなクラウドファンディングについてご紹介いたします。

ICYE の有志メンバーで結成された Cheerity 's は、現在クラウドファンディングを行っています。これはアフリカのウガンダという国にある三つの団体との共同プロジェクトであり、新型コロナウイルスの影響によって学習機会や仕事を失った現地の人々を支援しようと立ち上げたものです。クラウドファンディングの詳細な内容は下記の URL から見て頂ければと思います。

共同発案者であるウガンダの団体は、昨年 2 月に私とメンバーの一人、ちありさんが ICYE の海外ボランティアでウガンダに派遣された際にお世話になった団体です。思えば、現地の方から help のメッセージがきてから約 1 年が経とうとしています。当時はどうしたらよいか分からず途方に暮れ、すがる思いで莉奈さんに連絡したのを覚えています。莉奈さんはそうした現状や声をしっかりと受け止めて下さり、そして他のコワーカ-の皆さんが興味を持って動いて下さったことでこうしてプロジェクトを形にすることが出来ました。時間はかかりましたが、現場で実際に起きている問題と向き合い、その対処法を考え、それを本当に形にしていけるとても貴重な経験をさせて頂けたこと、そしてそういった力を持つ ICYE という団体、メンバーの皆さんと関わったことが本当に素敵で幸せだなと思いました。

全員が未経験のクラウドファンディングということで、現地の方とのやり取りや資金の設定、ページの見せ方、リターンの制作や SNS の活用など、あらゆることを手探り状態で進めたプロジェクトでしたが、だからこそ、クラファンページが完成した時は感無量でした。こメンバーそれぞれの工夫や思いがたくさん詰まっているページになっていますので、是非ページを覗いて、そしてウガンダという国のこと、さらにはこうしたコロナ禍にある世界中の人々に少しでも思いを馳せるきっかけにして頂けたら嬉しいです！

インターン のこのこ

〈Cheerity' s クラウドファンディングのページはこちらから！〉



ICYE ジャパン
インターンメンバーから
今の声をお届け♪

インターン' s Voice

インターンのかのさんから、今の声をお届け！



ICYE インターンとして活動してみて、、、
昨年 12 月に ICYE ジャパンに参加してから早くも 3 ヶ月
が経ち、イベント企画から進行など様々な経験をすること
ができました。ICYE ジャパン Co-workers の皆さんがとて
も暖かく、初めてのことでも恐れずに挑戦してみようと思
える環境があるからこそだったと思います。

また活動を通して多くの人に出会い、自分にはない考え方や価値観から学ぶことがたくさんあり
ました。現在はオンラインでの活動が主ですが、これから Co-workers の皆さんとお会いするこ
と、対面イベントを行えるようになることを楽しみにしています！

来日生イベントに参加してみて、、、

来日生イベントの企画・運営は私がインターンとして初めて携わりました。日本語レッスン・オ
リエンイベント共に盛り上がり、とても充実した 1 ヶ月間でした！

今回初めて先生として来日生に日本語を教えたり、イベントのファシリテートをしたりする貴重
な機会をいただいて緊張しましたが、Co-workers や来日生の皆さんの積極的な協力のおかげで
成功させることができました。また来日生が来日した際により良いサポートができるよう、これ
からも Co-workers の皆さんと頑張っていきたいと思います！

インターン かの

編集後記

インターンのまみです。いつもニュースレターを読んで下さる皆様、そして初めてニュースレターを
読んで下さった皆様、最後まで目を通して下さり、本当にありがとうございました！

来日生キャンプに I See Your Engagement と内容たっぷりの 4 月号はいかがでした？コワーカ
ーの充実ぶりが、ニュースレターを通して伝われば幸いです。ICYE ジャパンは活動に協力して
下さる皆さんを募集しています。ぜひ下記ページの line 登録より、ご連絡下さい。

これから皆様にお会いできる環境が整うことを心より願っています。

来月のニュースレターもお楽しみに。

インターン まみ

ICYE ジャパン LINE@

イベント開催情報・各国国際ボランティア情報・スタッフにLINEで相談など

ICYE ジャパンの最新情報が届きます！

また事務所の営業時間内であれば、コーディネーターに直接LINEで相談をすることも可能です。

ご登録よろしく願いいたします。



発行元

特定非営利活動法人 国際文化青年交換連盟日本委員会 (ICYE ジャパン)

〒169-0074 東京都新宿区北新宿 1-7-21 高澤ビル 901

Tel / Fax 03-5389-5041

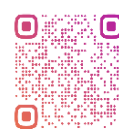
E-mail office@icye-japan.com

HP <http://www.icye-japan.com>

Facebook: icyejapan

Twitter: @icyejapan

Instagram: icyejapan



ICYEJAPAN